富山県民生涯学習カレッジ連携講座

富大生と一緒に学びませんか？

平成30年度 後学期

富山大学オープン・クラス

受講生募集要項



オープン・クラスとは？

富山大学では、「オープン・クラス」と称して、学生のための通常の授業を地域の皆様に公開し、学びの場を広く提供しています。
ぜひ本学の学生・教職員と一緒にキャンパスライフをご体験ください。

富山大学 地域連携推進機構 生涯学習部門

平成 30 年度後学期授業日程

キャンパス	五福キャンパス 高岡キャンパス	
	クォーター制※	セメスター制※
授　　業	10月3日(水)～11月21日(水) 11月30日(金)～12月25日(火) ＊一部日程が異なる科目があります。「オープン・クラス授業科目一覧」を参照ください。	10月3日(水)～12月25日(火) ＊一部日程が異なる科目があります。「オープン・クラス授業科目一覧」を参照ください。
冬季休業	12月26日(水)～1月6日(日)	
授　　業	1月7日(月)～2月1日(金)	
補　　講	11月22日(木)～11月29日(木) 2月4日(月)～2月8日(金)	2月4日(月)～2月8日(金)
	＊科目によって異なる場合があります。担当教員の指示に従ってください。	
注　　意	＊1月18日(金)は大学入試センター試験準備のため休講とします。	
	＊11月21日(水)は月曜日の授業を行います。 ＊11月22日(木)は金曜日の授業を行います。 ＊1月15日(火)は月曜日の授業を行います。	

※　セメスター制　　２学期制（前期・後期とし、各期終了後、補講、試験を行う。）
※　クォーター制　　４学期制（期間を４つに分け、各期間の間に授業・補講、試験を行う。）

授　業　時　間

時限	1　限	2　限	3　限	4　限	5　限	夜1限 （6限）	夜2限 （7限）
時間	8：45 ～ 10：15	10：30 ～ 12：00	13：00 ～ 14：30	14：45 ～ 16：15	16：30 ～ 18：00	18：10 ～ 19：40	19：50 ～ 21：20

富山大学のオープン・クラスについて

富山大学では、本学の授業を「オープン・クラス」と称して公開し、学生とともに教室で受講していただく市民一般の方々を募集します。

これは、本学が行う大学開放活動の一環で、各学部及び教養教育（以下「学部等」という。）が開設している授業を公開し、生涯学習に対する社会的要請に応えるとともに、地域社会と大学との連携をさらに深めようとするものです。

大学院（修士又は博士前期課程）の授業科目については，引き続きハイ・グレード・オープン・クラス（HGOC）として実施します。

この機会に、ぜひ本学の学生・教職員と一緒にキャンパスライフをご体験ください。

「オープン・クラス」の受講に当たっては、受講生（注１）として登録していただく必要があります。受講手続については、各キャンパスで異なりますのでご注意ください。

また、授業はあくまでも本学の学生を対象にしたものであるため、授業内容がご希望に沿うものであるかどうかを試聴期間中に充分ご検討されたうえで、ご登録ください。

（注１）「オープン・クラス」の受講生には単位認定を行いませんので、予めご了承ください。

富山大学地域連携推進機構　生涯学習部門

目　　次

富山大学のオープン・クラスについて

五福キャンパス

Ⅰ　実施形態…… 4
Ⅱ　受講手続…… 5
Ⅲ　受講に際して…… 6
Ⅳ　その他…… 7
オープン・クラス授業科目一覧
〇教養教育（五福）…… 8
〇専門科目
・人文学部　…… 9
・人間発達科学部　……12
・経済学部　……14
・理学部　……16
・工学部　……19
・都市デザイン学部　……22
〇大学院（ハイ・グレード・オープン・クラス（ＨＧＯＣ））
・人間発達科学研究科……23
・経済学研究科　……24
・理工学教育部（理学領域）……25
・理工学教育部（工学領域）……26

高岡キャンパス

Ⅰ　実施形態……30
Ⅱ　受講手続……31
Ⅲ　受講に際して……32
Ⅳ　その他……33
オープン・クラス授業科目一覧
〇専門科目
・芸術文化学部　……34

受講希望調書　……35

五福キャンパス



<五福キャンパス受講生窓口>

富山大学　研究振興部社会貢献課

〒 930-8555　富山市五福 3190

TEL　076－445－6956　FAX　076－445－6033

月曜日から金曜日の 8：30 から 17:15 まで受け付けています。（祝日を除く）

Ⅰ　実　施　形　態

（公開授業科目）

1　公開する授業科目は、「オープン・クラス授業科目一覧」（P8 ～ P27 参照）に記載のとおりです。

オープン・クラス授業科目一覧中の難易度は、授業の内容に応じて、次の四段階に区分していますので、参考にしてください。

難易度の目安

A　入門的な内容であり、高等学校卒業程度の学力を必要とするもの（大学１年次生対象の授業）

B　より進んだ内容であり、当該専門分野についての一定の基礎知識が必要となるもの（大学２～３年次生対象の授業）

C　高度な内容であり、当該専門分野について系統立てた学習がなされていることを前提とするもの（大学３～４年次生対象の授業）

D　高度の専門性を要する内容であり、大学卒業程度の学力を必要とするもの（大学院生対象（ハイ・グレード・オープン・クラス（ＨＧＯＣ））※の授業）

授業内容の紹介（シラバス）は、本学ホームページの「Ｗｅｂシラバス（授業案内）」（http://syllabus.adm.u-toyama.ac.jp/syllabus/）に掲載されておりますのでご覧ください（トップページから「キャンパスライフ」あるいは「在学生・教職員」のメニューをクリックしてください）。五福キャンパス受講生窓口においてもシラバスの閲覧ができます。

また、授業はあくまでも本学の学生を対象にしたものであり、受講生のために特別開設されたものではないことを予めご了承ください。

※ハイ・グレード・オープン・クラス（HGOC）について

内容的にも、より高度で専門的な本学の授業科目を受講してみたいという方のニーズに応えるため、大学院（修士又は博士前期課程）の授業科目を、ハイ・グレード・オープン・クラス（ＨＧＯＣ）として引き続き公開します。あらためて、大学でより高度で専門的な内容を学びたい（あるいは「学び直し」したい）とお考えの方は、是非受講してみてください。

受講手続や受講料は、学部等の教養教育や専門科目との違いはありません。

（募集定員）

2　募集定員は、「オープン・クラス授業科目一覧」に記載のとおりです。

「オープン・クラス授業科目一覧」に記載の募集定員を超えた場合や学生の履修者数が多かった場合には受講できないことがあります。

また、学生の履修者がいなかった場合は、オープン･クラスとしても開講されませんので、予めご了承ください。

（開講期間）

3　**平成 30 年 10 月３日（水）～平成 31 年２月１日（金）**

（一部、開講期間が異なる科目があります。その授業科目については、「オープン・クラス授業科目一覧」の備考欄を参照ください。）

授業日程については、予め決まっている休講日及び曜日を変更して実施する授業等があります。詳細は、必ず、表紙裏の「平成 30 年度後学期授業日程」でご確認ください。

（試聴授業）

4　試聴期間中の授業は試聴授業として扱います。

（修了証書）

5　オープン・クラスの受講生には単位認定を行いませんので、予めご了承ください。また、学期末の試験等は課しません。

全授業回数の 2/3 以上受講された方には、修了証書を発行いたします。修了証書を希望される場合には、受講生窓口にお申し出ください。

（県民カレッジの単位認定）

6　オープン・クラスは、県民カレッジ（富山県民生涯学習カレッジ）との連携講座です。全授業回数の 2/3 以上受講された方には、希望により、時間数に応じて（１時間を１単位とし、５単位刻みで認定）県民カレッジの単位が認定されます。単位認定を希望される場合には、受講生窓口にお申し出ください。

Ⅱ　受　講　手　続

（受講希望調書受付期間）

1　**平成 30 年９月３日（月）～９月 14 日（金）**

受付期間終了後の受付はできません。受付期間をご確認の上、遅れることのないよう提出してください。

（受講希望調書の提出）

2　本要項の巻末に添付してある「受講希望調書」を下記五福キャンパス受講生窓口に直接提出していただくか、郵送あるいは FAX でお送りください。郵送・FAX の場合は、受付期間最終日必着とします。

富山大学　研究振興部社会貢献課
〒 930-8555　富山市五福 3190
ＴＥＬ　076 － 445 － 6956　ＦＡＸ　076 － 445 － 6033
月曜日から金曜日の８:30 から 17:15 まで受け付けています。（祝日を除く）

3　「受講希望調書」を提出された方には、「受講届」用紙及び「リボン」をお渡しします。このリボンは試聴時に付けていただきますので、紛失されないようご注意ください。

（受講の試聴期間）

4　**試聴期間：平成 30 年 10 月３日（水）～ 10 月 16 日（火）**

受講生が授業の概要を確認し、受講する科目を決定していただくため、「試聴期間」を設けます。この期間中に受講科目を確定していただき、受講科目の登録を行ってください。試聴期間中に受講科目を追加・変更することはできません。

また、授業担当教員の都合により休講となる場合もありますので、掲示にご注意ください。

（受講科目の登録）

5　受講する科目を決められた方は、「受講届」に授業科目名等を記入し、**試聴期間中に授業担当教員に提示し、確認のサイン等を受け、五福キャンパス受講生窓口にご提出ください。**

五福キャンパス受講生窓口では、「受講届」を確認の上、受講登録を行います。

受講登録の際に必要となる書類等は次のとおりです。

・受講届

・受講料
・運転免許証、保険証等の身分を証明できる書類等

なお、登録手続は試聴期間中に完了していただくようお願いいたします。

授業に関する疑問・質問等がある場合は、確認のサイン等を受ける前に担当教員に照会してください。

（受講料の納付等）

6　受講登録時に、五福キャンパス受講生窓口で受講料を納付してください。受講料は本学が定める公開授業受講料により徴収させていただきます。

１授業科目　　9,300 円 （税込）（大学院（HGOC）も受講料は同額です。）

（**一部、受講料が異なる科目があります。**その授業科目については、「オープン・クラス授業科目一覧」の備考欄を参照ください。）

なお、いったん納入された受講料は、理由のいかんを問わず返還できませんので、予めご了承ください。

受講生が授業で使用するテキスト代及び授業に係るその他費用は、受講生の負担となりますのでシラバス及び担当教員の指示に従って、ご自身でご用意ください。テキストは富山大学生協で取り扱っています。

（受講証の交付）

7　受講料を納付された方には受講証をお渡ししますので、来学の際は携帯されるようお願いいたします。複数の授業科目を受講する場合でも、受講証は１枚のみの発行となります。

Ⅲ　受講に際して

（受講生の義務）

1　受講生は、受講に当たり本学が行う教育及び研究に支障をきたさないよう努めていただくとともに、授業担当教員の指示に従ってください。また、本学構内で勧誘行為等を行うことを禁止いたします。

（受講の停止）

2　受講生が義務に違反し、本学の秩序を乱し、または受講生としてふさわしくない言動があった場合、受講を停止することがあります。

なお、受講停止の場合であっても、既納の受講料は返還できません。

（休・補講、教室変更について）

3　これらの連絡は教員の指示や各学部等掲示板で行います。受講開始後でも、教室等について変更する可能性がありますのでご注意ください。

また、**携帯電話やパソコンからも授業の掲示情報を確認できます。詳細は、本要項の最終ページ（裏表紙の裏）を参照ください。**

（受講生の呼び出し等）

4　授業中その他、受講生への連絡や呼び出しには応じかねますので、予めご了承ください。

また、授業中は携帯電話の電源をお切りください。

（図書館の利用）

5　附属図書館は市民一般に開放しています。資料の貸出を希望される場合には、附属図書館のカウンターにて利用手続きを行ってください。

（福利厚生施設の利用）

6　受講生は、売店、食堂等の施設を利用することができます。

（損害賠償）

7　受講生が本学の施設、設備等を破損したときは、届け出てください。その損害を賠償していただくことがあります。

（保険制度）

8　授業内容により、一部保険加入が必須となる科目がありますのでご注意ください。加入手続きは、五福キャンパス受講生窓口で行ってください。

（通学方法）

9　キャンパスは駐車スペースが少ないので、公共交通機関等をご利用ください。また、自転車でお越しの方は、指定の駐輪場に施錠した上で停めてください。これに違反したトラブルや事故が起きた場合、大学側では責任を負いかねますので、予めご了承ください。

Ⅳ　そ　の　他

1　「オープン･クラス」に関する授業内容等については､学部等においてもお問い合わせできます。

○　教養教育
　　学務課　教養教育支援室　　TEL 076-445-6031
○　人文学部
　　人社系学務課人文学部担当　　TEL 076-445-6138
○　人間発達科学部、人間発達科学研究科
　　人社系学務課人間発達科学部担当　　TEL 076-445-6259
○　経済学部、経済学研究科
　　人社系学務課経済学部担当　　TEL 076-445-6409
○　理学部、理工学教育部（理学領域）
　　理工系学務課理学部担当　　TEL 076-445-6547
○　工学部、理工学教育部（工学領域）
　　理工系学務課工学部担当　　TEL 076-445-6701
○　都市デザイン学部
　　理工系学務課都市デザイン学部担当　　TEL 076-445-6698

2　授業科目の授業曜日・時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、予めご了承ください。授業開始前には、毎回各学部等の掲示板をご覧ください。

3　受講に際しご記入いただいた個人情報（お名前や連絡先等）は、今後の講座案内等の送付やアンケート調査、講師への情報提供及び県民カレッジの単位申請にのみ利用し、その他の目的では利用いたしません。

オープン・クラス授業科目一覧

○教養教育

学部等名：教養教育（五福）

番号	授業科目名	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	教　室	募集定員	難易度	備　考
1	物理学序説Ⅱ	栗　本　　猛	木・2	共 C11	５名程度	A	パソコン使用 （Moodle 使用）
2	ラテン語B	佐　藤　真基子	水・5	共 A33	5	A	
3	外国文学	佐　藤　真基子	月・5	共 C11	若干名	A	
4	現代社会論	橋　本　　勝	月・4	共 D22	若干名	A	地域志向科目
5	新聞投稿に挑戦	橋　本　　勝	水・1	共 D21	若干名	A	
6	線形代数学	笹　野　一　洋	月・3	共 D12	若干名	A	
7	自然現象のモデル化とその解析	笹　野　一　洋	月・5	共 C21	若干名	B	本学医学部・医学科・薬学部対象の「解析学A」程度の知識を有すること。

※備考欄に「パソコン使用」とある場合は、授業でパソコンを使用します。別途利用手続きが必要となりますので、受講生窓口（社会貢献課）までお問い合わせください。

※授業曜日・時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承願います。なお、諸連絡は、授業担当教員の指示及び掲示により行います。授業開始前には、毎回当該学部の掲示板をご覧ください。

○専門科目

学部等名：人文学部

番号	授業科目名	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	教　室	募集定員	難易度	備　考
1	哲学講読	永　井　龍　男	木・1	人文３	3	A	
2	西洋思想史	永　井　龍　男	火・3	人文１	3	B	
3	西洋古典語	永　井　龍　男	木・5	人文601	3	B	
4	哲学講読	池　田　真　治	金・3	人文601	3	B	
5	西洋思想史	池　田　真　治	金・2	人文１	3	B	
6	人間学演習Ⅰ	田　畑　真　美	木・4	人文601	3	C	
7	人間学講読	田　畑　真　美	金・1	人文１	3	B	
8	現代と思想	澤　田　哲　生	木・3	人文６	5	A	
9	日本史概説Ⅰ	鈴　木　景　二	水・1	人文３	5	A	
10	日本史史料講読	鈴　木　景　二	火・4	人文605	3	B	
11	日本史特殊講義	熊　谷　隆　之	木・3	人文１	5	B	
12	古文書学実習	熊　谷　隆　之	金・3	人文２	5	B	
13	東洋史概説Ⅱ	澤　田　　稔	木・3	人文３	5	B	
14	西洋史特殊講義	入　江　幸　二	金・2	人文４	5	B	
15	西洋史概説Ⅱ	南　　祐　三	月・3	人文２	5	B	
16	国際文化概論	末　岡　　宏 青　木　恭　子 小　野　直　子	木・5	人文６	5	B	
17	アメリカ文化特殊講義	小　野　直　子	火・5	人文４	講義室 収容可能範囲	B	
18	心理学概論Ⅰ	喜　田　裕　子 黒　川　光　流 坪　見　博　之	金・5	人文４	5	A	
19	国際関係論概論	林　　夏　生 竹　村　　卓	木・1	人文４	2	A	
20	国際関係論特殊講義	竹　村　　卓	木・5	人文３	2	B	
21	社会学概論	伊　藤　智　樹	金・3	人文４	若干名	A	
22	人文地理学概論	鈴　木　晃志郎	木・3	人文４	3	A	
23	文化人類学概論	野　澤　豊　一	木・4	人文６	5	A	
24	言語学特殊講義Ｅ	樋　野　幸　男	火・2	人文３	5	B	
25	言語学概論Ⅰ	安　藤　智　子	金・3	人文６	若干名	A	
26	日本語学概論	小助川　貞　次	木・1	人文６	5	A	

学部等名：人文学部

番号	授業科目名	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	教　室	募集定員	難易度	備　考
27	日本文学史	小　谷　瑛　輔	木・2	人文６	10	B	
28	朝鮮語コミュニケーション（作文）	和　田　とも美	月・2	人文 211	3	B	
29	朝鮮語コミュニケーション（会話）	宋　　有　宰	木・1	人文 211	3	B	
30	中国語学概論	森　賀　一　惠	木・1	人文 417	若干名	A	
31	中国言語文化講読	大　野　圭　介	火・4	人文 417	3	B	現代中国語を最低１年間学習済みであることを前提に授業を行う。
32	中国言語文化特殊講義	大　野　圭　介	木・2	人文２	若干名	B	
33	英米言語文化講読Ⅱ	恒　川　正　巳	金・2	人文２	3	C	２回目以降の参加のためには準備が必要です。１回目の授業で指示します。
34	英米言語文化演習Ⅰ	恒　川　正　巳	金・3	共 E43	3	B	２回目以降の参加のためには準備が必要です。１回目の授業で指示します。
35	英米言語文化演習Ⅱ	大工原　ちなみ	月・2	人文２	3	C	
36	英米言語文化特殊講義	大工原　ちなみ	火・1	人文２	3	B	
37	英米言語文化演習Ⅰ	大工原　ちなみ	火・2	人文２	3	B	
38	英語学講読Ⅱ	藤　川　勝　也	木・3	人文 214	若干名	C	
39	ドイツ言語文化特殊講義	宮　内　伸　子	火・1	人文３	2	C	事前に面接を行います。
40	ドイツ言語文化講読Ⅱ	宮　内　伸　子	木・2	人文 416	2	C	事前に面接を行います。
41	ドイツ文化論	阿　部　美　規	金・2	人文３	5	B	事前に面接を行います。
42	ドイツ言語文化講読Ⅰ	阿　部　美　規	金・4	人文 LL	5	B	事前に面接を行います。
43	ドイツ語コミュニケーション（会話）Ⅰ（１）	ヴォルフガング　ツォウベク	火・3	人文 416	2	B	
44	ドイツ語コミュニケーション（会話）Ⅱ（１）	ヴォルフガング　ツォウベク	火・2	人文 416	2	C	
45	ドイツ語コミュニケーション（会話）Ⅰ（２）	ヴォルフガング　ツォウベク	金・3	人文 416	2	B	
46	ドイツ語コミュニケーション（会話）Ⅱ（２）	ヴォルフガング　ツォウベク	金・4	人文 416	2	C	
47	ドイツ語コミュニケーション（作文）初級	ヴォルフガング　ツォウベク	水・3	人文 416	2	B	
48	ドイツ語コミュニケーション（作文）中級	ヴォルフガング　ツォウベク	水・2	人文 416	2	C	
49	フランス文学史	中　島　淑　恵	月・2	人文６	若干名	B	
50	ロシア言語文化講読Ⅰ	中　澤　敦　夫	木・4	人文 316	5	B	
51	ロシア言語文化演習Ⅱ	中　澤　敦　夫	木・3	人文 316	5	C	
52	ヨーロッパ言語文化特殊講義	武　田　昭　文	金・5	人文５	5	B	
53	実践ロシア語演習Ⅱ	カザケーヴィチ　マルガリータ	水・2	人文 316	3	B	
54	実践ロシア語演習Ⅰ	カザケーヴィチ　マルガリータ	水・3	人文 316	3	B	

学部等名：人文学部

番号	授業科目名	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	教　室	募集定員	難易度	備　考
55	ロシア言語文化特殊講義	カザケーヴィチ　マルガリータ	水・4	人文 316	3	B	
56	実践ロシア語演習Ⅲ	カザケーヴィチ　マルガリータ	金・2	人文 316	3	B	
57	ロシア文化論	カザケーヴィチ　マルガリータ	金・4	人文 316	3	B	

※授業曜日・時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承願います。なお、諸連絡は、授業担当教員の指示及び掲示により行います。授業開始前には、毎回当該学部の掲示板をご覧ください。

学部等名：人間発達科学部

番号	授業科目名	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	教　室	募集定員	難易度	備　考
1	カウンセリング	石　津　憲一郎	月・2	人間実践センター	3	B	教科書の購入有，過去・現在で心理治療を受けた・受けている人は履修前に担当教員と相談 パソコン使用 （Moodle 使用）
2	学級集団心理学	佐　藤　　徳	金・1	人間 141	3	B	
3	コミュニティ心理学	近　藤　龍　彰	水・2	人間 113	3	B	
4	学習心理学	小　川　　亮	木・3	人間実践センター	3	B	パソコン使用 （Moodle 使用）
5	青年心理学	姜　　信　善	木・4	人間 113	3	B	
6	発達心理学	姜　　信　善	金・4	人間 111	3	B	
7	心理学研究法	小　川　　亮	金・5	人間端末室	3	B	パソコン使用 （端末室の授業、Moodle 使用）
8	学校文化論	増　田　美　奈	木・1	人間 113	3	A	
9	地域交流活動論	隅　　敦	木・2	人間 331	5	A	地域課題解決科目
10	幼児理解と相談支援	小　林　　真	金・3	人間 111	5	A	
11	幼児教育・保育課程論	若　山　育　代	金・3	人間 113	3	C	
12	社会福祉概論Ⅰ	志　賀　文　哉	金・1	人間 211	5	A	
13	知的障害児の生理・病理Ⅰ	宮　　一　志	木・1	人間 114	10	B	
14	病弱児の心理・生理・病理	宮　　一　志	水・1	人間 114	10	B	
15	就労支援論	志　賀　文　哉	木・3	人間 116	5	B	7,300 円
16	司法福祉論	小　林　　真	木・4	人間 114	3	B	7,300 円
17	保育原理	西　館　有　沙	木・4	人間 117	5	A	
18	保育者論	若　山　育　代	月・1	人間 111	3	B	
19	家庭支援論	西　館　有　沙	火・4	人間 113	5	B	
20	保育内容総論	若　山　育　代	金・2	人間 111	3	B	
21	軽度発達障害児教育総論	水　内　豊　和	火・2	人間 116	3	B	
22	地域と健康	布　村　忠　弘	火・5	人間 311	10	B	地域関連科目
23	スポーツ心理学	福　島　洋　樹	金・2	人間 311	10	B	
24	スポーツ社会学	神　野　賢　治	月・4	人間 311	3	B	
25	スポーツ史	大　川　信　行	水・1	人間 331	3	B	
26	学校と健康	布　村　忠　弘	木・4	人間 342	10	B	
27	スポーツ指導論	佐　伯　聡　史	金・3	人間 211	5	B	

学部等名：人間発達科学部

番号	授業科目名	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	教　室	募集定員	難易度	備　考
28	スポーツ運動学	佐伯　聡史	火・3	人間 311	5	B	
29	スポーツ動作分析法	堀田　朋基	火・4	人間 342	5	B	
30	解剖学	布村　忠弘	木・1	人間 311	5	B	
31	運動生理学	堀田　朋基	金・2	人間 332	5	B	
32	全地球史	河村　愛	火・4	人間 114	5	A	
33	化学物質の機能と環境	片岡　弘	火・2	人間 化学実験室	5	A	パソコン使用 （Moodle 使用）
34	生活工学	秋月　有紀	木・1	人間 211	5	A	
35	都市景観論	秋月　有紀	木・2	人間 211	5	A	
36	ヒトの動きの機能解剖学	鳥海　清司	火・1	人間 311	3	A	パソコン使用 （Moodle 使用）
37	身体の形態と機能の測定	鳥海　清司	金・3	人間 332	3	C	
38	人間安全保障論	池田　丈佑	木・2	人間 221	3	B	パソコン使用 （Moodle 使用）
39	比較地域論	山根　拓	月・3	人間 211	5	B	地域関連科目
40	地域企業論	根岸　秀行	木・3	人間 112	3	B	
41	基礎地域史	中村　只吾	火・2	人間 113	5	B	
42	科学ジャーナリズム論	林　衛	木・1	人間 2308	3	B	
43	地球市民社会論	池田　丈佑	水・2	人間 211	3	B	パソコン使用 （Moodle 使用）
44	熱とエントロピー	成行　泰裕	金・4	人間 221	3	C	
45	メディア芸術論	鼓　みどり	火・3	人間 342	3	B	
46	日本文学概論	西田谷　洋	木・3	人間 332	10	B	
47	情報コミュニケーション学特別講義	宮城　信	月・4	人間 342	5	A	
48	現代文章表現法	宮城　信	火・2	人間 332	5	A	
49	線形システム概論	石川　秀明	金・4	人間 342	3	A	

※備考欄に「パソコン使用」とある場合は、授業でパソコンを使用します。別途利用手続きが必要となりますので、受講生窓口（社会貢献課）までお問い合わせください。

※授業曜日・時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承願います。なお、諸連絡は、授業担当教員の指示及び掲示により行います。授業開始前には、毎回当該学部の掲示板をご覧ください。

学部等名：経済学部

＊未定の教室については、受講希望調書の受付期間終了後に、社会貢献課より郵送にて案内を差し上げます。もし、試聴日までに連絡がない場合には、受講生窓口（社会貢献課）にお問い合わせください。

番号	授業科目名	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	教　室	募集定員	難易度	備　考
1	経済学入門	岩　田　真一郎	木・4	未定	5	A	パソコン使用 （Moodle 使用）
2	経済学入門	大　坂　　洋	金・6	未定	5	A	
3	西洋経済史	大　西　吉　之	月・6 月・7	未定	5	B	13,300 円
4	国際経済学	垣　田　直　樹	木・6 木・7	未定	3	C	13,300 円
5	計量経済学	唐　渡　広　志	月・2 月・3	未定	3	C	パソコン使用 （端末室の授業） 13,300 円
6	国際マクロ経済学	金　　奉　吉	木・1	未定	3	B	
7	公共経済学	小　寺　　剛	水・1 金・2	未定	3	B	13,300 円
8	地域社会学Ⅰ	高　山　龍太郎	月・1	未定	5	B	
9	社会調査論	高　山　龍太郎	火・3	未定	5	B	
10	ミクロ経済学Ⅱ	堂　谷　昌　孝	火・4 金・3	未定	5	B	13,300 円
11	経済学入門	中　村　和　之	木・4	未定	3	A	パソコン使用 （Moodle 使用）
12	マクロ経済学Ⅱ	新　里　泰　孝	火・2 金・4	未定	5	B	パソコン使用（時々、端末室を利用、Moodle 使用） 13,300 円
13	証券市場論	本　間　哲　志	木・4	未定	10	B	
14	現代経済入門	松　山　　淳	金・7	未定	5	A	
15	マクロ経済学Ⅰ	本　山　卓　実	金・6 金・7	未定	5	B	13,300 円
16	経済史総論	矢　島　　桂	火・3 金・1	未定	5	B	13,300 円
17	金融論Ⅱ	山　田　潤　司	水・6 水・7	未定	3	C	13,300 円
18	特殊講義　Environmental Economics	山　本　雅　資	水・2	未定	3	C	
19	経営モデル分析	白　石　俊　輔	金・1	未定	3	B	
20	経営史	長谷部　宏　一	火・1 木・3	未定	10	A	13,300 円
21	ゲーム分析	平　井　俊　行	月・4 木・4	未定	5	B	13,300 円
22	人的資源管理	馬　　駿	金・6 金・7	未定	5	B	13,300 円
23	民事執行法	岩　本　　学	火・2	未定	3	C	
24	入門法学ⅡA	木　戸　　茜	木・2	未定	3	A	
25	労働法	竹　地　　潔	月・6 月・7	未定	3	B	13,300 円
26	特殊講義　法と心理学入門	立　石　孝　夫	木・3	未定	10	A	
27	経済法	中　出　孝　典	金・6 金・7	未定	3	B	13,300 円

学部等名：経済学部

番号	授業科目名	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	教　室	募集定員	難易度	備　　考
28	入門法学Ⅱ B	橋　口　賢　一	木・2	未定	3	A	
29	債権法Ⅱ（各論）	森　嶋　秀　紀	火・4 金・3	未定	5	B	13,300 円
30	刑事訴訟法	八　百　章　嘉	火・3 金・1	未定	若干名	B	13,300 円
31	特殊講義 キャリア・デザイン論	船　橋　伸　一	木・3	未定	10	A	

※備考欄に「パソコン使用」とある場合は、授業でパソコンを使用します。別途利用手続きが必要となりますので、受講生窓口（社会貢献課）までお問い合わせください。

※授業曜日・時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承願います。なお、諸連絡は、授業担当教員の指示及び掲示により行います。授業開始前には、毎回当該学部の掲示板をご覧ください。

学部等名：理学部

＊未定の教室については、受講希望調書の受付期間終了後に、社会貢献課より郵送にて案内を差し上げます。もし、試聴日までに連絡がない場合には、受講生窓口（社会貢献課）にお問い合わせください。

番号	授業科目名	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	教　室	募集定員	難易度	備　考
1	微分積分学Ⅱ	池　田　榮　雄	木・4	共通棟（未定）	若干名	C	（注 1）
2	解析学 B	藤　田　安　啓	木・4	理 A238	若干名	C	（注 1）
3	線形代数学B	古　田　高　士	金・3	理 A424	若干名	C	（注 1）
4	集合論	古　田　高　士	木・5	理 A238	若干名	C	（注 1）
5	解析学Ⅴ	阿　部　幸　隆	月・3	理 A238	若干名	C	（注 1）
6	代数学Ⅰ	木　村　　巌	火・5	理 A238	若干名	C	（注 1）
7	位相空間論Ⅰ	出　口　英　生	木・3	理 A238	若干名	C	（注 1）
8	複素解析学Ⅰ	藤　田　景　子	金・5	理 A424	若干名	C	（注 1）
9	実解析学Ⅰ	菊　池　万　里	木・5	理 A239	若干名	C	（注 1）
10	プログラミングⅡ	幸　山　直　人	水・5	総合情報基盤センター	若干名	C	パソコン使用 （端末室の授業） （注 1）
11	微分方程式論Ⅰ	出　口　英　生	火・3	理 A238	若干名	C	（注 1）
12	代数学Ⅲ	山　根　宏　之	火・1	理 A238	若干名	C	パソコン使用 （Moodle 使用） （注 1）
13	幾何学Ⅱ	永　井　節　夫	木・4	理 A337	若干名	C	（注 1）
14	数値解析学	上　田　肇　一	月・2	理 A238	若干名	C	（注 1）
15	数学英語	藤　田　景　子 川　部　達　哉	月・4	理 A238	若干名	C	（注 1）
16	代数学特論A	山　根　宏　之	木・2	理 A337	若干名	C	（注 1）
17	幾何学特論A	川　部　達　哉	水・2	理 A336	若干名	C	（注 1）
18	情報数理特論A	木　村　　巌	火・2	理 A238	若干名	C	パソコン使用 （端末室の授業） （注 1）
19	物理学概論Ⅱ	小　林　かおり	木・2	共通棟（未定）	5	A	
20	力学序論	桑　井　智　彦	木・5	理 C104	若干名	A	
21	物理数学A	栗　本　　猛	金・4	理 A238	5	C	
22	力学 C	柿　崎　　充	木・3	理 A239	5	B	
23	電磁気学 A	森　脇　喜　紀	火・2 水・2	理 C104	5	A	前半（～ 11/27）開講 パソコン使用 （Moodle 使用）
24	電磁気学 B	森　脇　喜　紀	火・2 水・2	理 C104	5	A	後半（12/4 ～）開講。電磁気学 A の内容を修得していること。 パソコン使用 （Moodle 使用）
25	熱力学	田　山　　孝	火・4	理 C104	若干名	B	
26	統計力学 A	畑　田　圭　介	月・2 火・3	理 A239	5	C	前半（～ 11/27）開講 熱力学の内容，力学，電磁気学，量子力学の初歩的内容を修得していること。

学部等名：理学部

番号	授業科目名	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	教　室	募集定員	難易度	備　考
27	統計力学Ｂ	畑　田　圭　介	月・2 火・3	理 A239	5	C	後半（12/3 ～） 熱力学の内容，力学，電磁気学，量子力学の初歩的内容を修得していること。
28	量子力学Ｃ	柿　崎　　充	木・2	理 A239	若干名	C	
29	核素粒子物理学Ａ	柿　崎　　充	金・2	理 A238	5	C	
30	電磁波物理学	小　林　かおり	水・2	理 A424	5	B	量子力学あるいは量子化学の初歩を習得していること。
31	化学概論Ⅱ	宮　澤　眞　宏	金・2	共通棟（未定）	5 名程度	A	パソコン使用 （Moodle 使用）
32	化学熱力学Ⅰ	岩　村　宗　高	金・4	理 A337	5 名程度	A	
33	量子化学Ⅰ	野　崎　浩　一	金・5	理 A337	5 名程度	B	
34	有機化学Ⅱ	林　　直　人	木・5	理 A336	5 名程度	A	
35	放射線基礎学	波多野　雄　治	火・1	理 多目的ホール	若干名	A	
36	化学反応学	大　澤　　力	水・1	理 A239	5 名程度	B	
37	無機化学Ⅰ	柘　植　清　志	月・2	理 A337	5 名程度	A	
38	有機化学Ⅴ	宮　澤　眞　宏	月・1	理 A337	5 名程度	C	パソコン使用 （Moodle 使用）
39	有機化学Ⅵ	横　山　　初	水・2	理 A239	5 名程度	B	
40	生物化学Ⅰ	井　川　善　也	金・2	理 A336	10 名程度	B	
41	化学平衡学	原　　正　憲	火・1	理 C202	若干名	B	
42	溶液化学	鈴　木　　炎	金・2	理 A425	若干名	C	
43	材料科学	田　口　　明	火・2	理 C202	10 名程度	B	
44	合成有機化学	松　村　茂　祥	木・2	理 A425	5 名程度	C	
45	機器分析化学	林　直　人　他	金・1	理 A425	若干名	C	
46	植物生理学	唐　原　一　郎	水・2	理 C105	5	B	
47	共生機能科学	土　田　　努	火・5	理 A239	5	B	
48	発生制御学	若　杉　達　也	火・2	理 A336	5	C	
49	地球内部物理学	渡　邊　　了	火・2	理 A337	若干名	B	
50	岩石学	石　崎　泰　男	金・2	理 A337	若干名	B	
51	地球流体力学	安　永　数　明	火・3	理 A337	若干名	C	
52	環境基礎生物学Ａ	酒　徳　昭　宏 中　村　省　吾	金・4	理 C104	若干名	B	
53	生態学	石　井　　博	木・2	理 A336	若干名	B	
54	生理化学	蒲　池　浩　之	水・2	理 A337	若干名	B	

学部等名：理学部

番号	授業科目名	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	教　室	募集定員	難易度	備　考
55	保全生物学	横　畑　泰　志	水・1	理 A337	若干名	B	地域関連科目
56	環境化学計測	倉　光　英　樹	火・2	理 A424	若干名	B	

（注１）当該授業科目受講のためには，開講時以前の全必修科目を取得しているのと同程度の学力を有することが必要です。受講を決める前に，必ず当該授業科目担当教員とよく相談してください。

※備考欄に「パソコン使用」とある場合は、授業でパソコンを使用します。別途利用手続きが必要となりますので、受講生窓口（社会貢献課）までお問い合わせください。

※授業曜日・時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承願います。なお、諸連絡は、授業担当教員の指示及び掲示により行います。授業開始前には、毎回当該学部の掲示板をご覧ください。

学部等名：工学部

番号	授業科目名	担当教員 氏名	授業曜日・時限	教室	募集定員	難易度	備考
1	基礎化学（C）	鈴木 正康	火・3	共C 13	5	A	
2	電子物性工学3	中 茂樹	月・1	工25	若干名	B	
3	電気回路1	飴井 賢治	木・1	工27	5	A	
4	ディジタル電子回路	戸田 英樹	水・1	工28	5	B	
5	アナログ電子回路2	中島 一樹	火・1	工26	5	B	
6	集積回路工学	岡田 裕之	月・4	工25	若干名	B	
7	熱・波動	喜久田 寿郎	金・3	工28	5	A	
8	半導体デバイス1	前澤 宏一	月・3	工26	若干名	B	
9	電気エネルギー工学2	伊藤 弘昭	月・2	工25	若干名	B	
10	電気数学3	小出 明	水・2	工28	5	B	
11	信号処理工学	荏戸 立夫	金・1	工25	5	C	
12	電磁気学1	中 茂樹	金・1	工28	若干名	B	
13	音響工学	安藤 彰男	水・1	工27	5	B	
14	電気機器工学1	大路 貴久	金・2	工26	5	B	
15	送配電工学2	田中 和幸	水・2	工27	5	C	
16	光工学	中 茂樹	金・2	工25	若干名	B	
17	デジタル信号処理	廣林 茂樹	月・2	工26	10	B	
18	ブレインコンピューティング	田端 俊英	火・4	工31	若干名	B	
19	数値解析	春木 孝之	金・3	工21	5	B	
20	組込みシステム	廣林 茂樹	月・4	工23	10	C	
21	離散数学	菊島 浩二	火・4	工25	5	A	
22	電子回路Ⅰ	田端 俊英	木・2	工28	若干名	B	
23	情報セキュリティ	村山 立人	水・2	工22	5	C	
24	マルチメディア工学	唐 政	木・2	工24	10	C	
25	微分積分Ⅱ	角皆 浩	木・4	工28	10	A	
26	プログラミング応用B	酒井 充	金・1	工36	若干名	B	プログラミングⅠ相当の知識が必要となります。
27	通信システム	菊島 浩二	木・4	工25	5	B	
28	フーリエ解析	長谷川 英之	月・3	工24	5	A	
29	線形代数Ⅰ（A）	瀬田 剛	木・3	工35	5	A	
30	材料力学第2	木田 勝之	金・1	工35	5	B	
31	基礎材料工学	會田 哲夫	金・3	工27	5	B	

学部等名：工学部

番号	授業科目名	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	教　室	募集定員	難易度	備　考
32	工業数学Ｂ	松　島　紀　佐	火・1	工34	10	B	
33	流体力学	川　口　清　司	火・1	工28	5	B	
34	要素設計学第２	小　熊　規　泰	火・2	工28	若干名	C	
35	基礎化学（Ｄ）	手　崎　　衆	火・3	共D 21	若干名	A	
36	応用情報工学	笹　木　　亮	木・4	センター２・ ３階端末室	若干名	B	パソコン使用 （端末室の授業）
37	基礎熱力学	手　崎　　衆	木・3	工27	若干名	B	
38	力学	関　本　昌　紘	木・4	工35	5	A	
39	シミュレーション工学	タチアナ ニコラエヴナ ゾロツキヒナ	金・3	工25, センター４階 端末室	若干名	B	パソコン使用 （端末室の授業）
40	ロボット工学	関　本　昌　紘	金・4	工25	5	B	
41	基礎流体工学	川　口　清　司	木・1	工25	若干名	B	
42	計測工学・精密測定学演習	寺　林　賢　司	水・2	工26, センター２・ ３階端末室	5	B	パソコン使用（端末室の授業、Moodle 使用）
43	線形代数Ⅰ（Ａ）	黒　岡　武　俊 須　加　　実	火・4	共D 22	5	A	
44	基礎生理学	中　村　真　人	木・2	工31	若干名	B	
45	生体医工学Ⅱ	中　村　真　人	月・2	工23	10	B	
46	データ解析概論	黒　岡　武　俊	火・2	工22	若干名	B	
47	細胞生物学	篠　原　寛　明	金・2	工21	若干名	B	
48	システム工学	黒　岡　武　俊	火・1	工22	10	B	
49	生物反応工学	星　野　一　宏	金・2	工22	5	B	
50	生命物理化学Ⅰ	伊野部　智　由	金・2	工23	5	B	
51	生命無機化学Ⅰ	篠　原　寛　明	木・2	工33	若干名	A	
52	生体計測工学	川　原　茂　敬	火・1	工23	5	B	
53	細胞代謝学Ⅰ	佐　山　三千雄	木・1	工33	10	B	
54	生化学Ⅰ	黒　澤　信　幸	金・4	工33	3	A	
55	高分子物性化学	伊　藤　研　策	火・4	工24	10	C	
56	分子固体物性工学	宮　﨑　　章	金・1	工24	10	C	
57	基礎化学工学	劉　　貴　慶	火・3	工24	5	B	
58	分子構造解析演習	遠　田　浩　司	火・2	工24	5	C	
59	界面材料工学	伊　藤　研　策	水・2	工32	10	C	
60	機器分析	遠　田　浩　司	木・2	工22	5	C	

学部等名：工学部

番号	授業科目名	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	教　室	募集定員	難易度	備　考
61	反応工学	椿　範立	木・3	工12	若干名	B	
62	量子化学	石山達也	木・4	工12	若干名	B	
63	分析化学Ⅰ	加賀谷重浩	木・3	工34	5	A	
64	無機材料化学	會澤宣一	月・5	工22	5	C	
65	有機材料工学	米山嘉治	金・3	工24	5	B	
66	有機化学Ⅳ	堀野良和	木・1	工22	若干名	B	
67	工業有機化学演習	堀野良和	月・2	工22	若干名	B	
68	材料工学序論Ⅱ	松田健二 李　昇原	月・2	工31	若干名	B	地域関連科目
69	結晶構造解析学	佐伯　淳	木・3	工32	3	B	
70	材料機能工学演習Ⅲ	柴柳敏哉 吉田正道 山根岳志	火・2	工32	5	B	
71	材料機能工学Ⅱ	佐伯　淳	月・2	工32	5	B	
72	材料加工法	柴柳敏哉	火・1	工32	3	B	

※備考欄に「パソコン使用」とある場合は、授業でパソコンを使用します。別途利用手続きが必要となりますので、受講生窓口（社会貢献課）までお問い合わせください。

※授業曜日・時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承願います。なお、諸連絡は、授業担当教員の指示及び掲示により行います。授業開始前には、毎回当該学部の掲示板をご覧ください。

学部等名：都市デザイン学部

＊未定の教室については、受講希望調書の受付期間終了後に、社会貢献課より郵送にて案内を差し上げます。もし、試聴日までに連絡がない場合には、受講生窓口（社会貢献課）にお問い合わせください。

番号	授業科目名	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	教　室	募集定員	難易度	備　考
1	一般地質学	大　藤　　茂	木・5	理 A424	若干名	A	
2	微分積分Ⅱ	竜　田　尚　希	木・3	工 36	5	A	
3	線形代数Ⅱ	井ノ口　宗　成	木・4	工 36	5	A	
4	都市デザイン学総論	中　川　大　他	金・1	未定	10	A	地域課題解決科目
5	データサイエンスⅠ／確率統計	堀　田　裕　弘	金・3	都市 CAD コンピュータ室	5	A	パソコン使用 （端末室の授業）
6	材料学概論	松　田　健　二 李　　昇　原	木・1	工 34	若干名	A	
7	線形代数Ⅱ	布　村　紀　男	木・2	工 11	若干名	A	パソコン使用 （Moodle 使用）
8	物理化学Ⅰ	村　田　　聡	木・3	工 11	若干名	A	
9	力学	並　木　孝　洋	木・4	工 11	若干名	A	
10	微分積分Ⅱ	柴　柳　敏　哉	金・2	未定	若干名	A	
11	データサイエンスⅠ / 確率統計	堀　田　裕　弘 山　根　岳　志	金・3	工 35	若干名	A	パソコン使用 （端末室の授業）

※授業曜日・時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承願います。なお、諸連絡は、授業担当教員の指示及び掲示により行います。授業開始前には、毎回当該学部の掲示板をご覧ください。

○大学院

大学院名：大学院人間発達科学研究科

番号	授業科目名	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	教室	募集定員	難易度	試　聴　日	備考
1	居住環境計画特論	秋　月　有　紀	火・4	人間 2104	若干名	D	—	

（注 1）　当該授業科目受講のためには，開講時以前の全必修科目を修得しているのと同程度の学力を有することが必要です。受講を決める前に，必ず当該授業科目担当教員とよく相談してください。

※授業曜日・時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承願います。なお、諸連絡は授業担当教員の指示及び掲示により行います。授業開始前には、毎回当該学部の掲示板をご覧ください。

大学院名：大学院経済学研究科

＊未定の教室については、受講希望調書の受付期間終了後に、社会貢献課より郵送にて案内を差し上げます。もし、試聴日までに連絡がない場合には、受講生窓口（社会貢献課）にお問い合わせください。

番号	授業科目名	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	教室	募集定員	難易度	試　聴　日	備考
1	東アジアの経済開発特殊研究	金　　奉　吉	火・2	未定	若干名	D	10/3-15 の間の初回授業	
2	地域社会学特殊研究	高　山　龍太郎	月・3	未定	若干名	D	10/3-15 の間の初回授業	
3	財政学特殊研究	中　村　和　之	火・7	未定	若干名	D	10/3-15 の間の初回授業	
4	経営戦略論特殊研究	内　田　康　郎	金・5	未定	若干名	D	10/3-15 の間の初回授業	
5	管理会計論特殊研究	森　口　毅　彦	木・4	未定	若干名	D	10/3-15 の間の初回授業	
6	消費者行動論特殊研究	坂　田　博　美	火・6	未定	3	D	10/3-15 の間の初回授業	

（注 1）　当該授業科目受講のためには，開講時以前の全必修科目を修得しているのと同程度の学力を有することが必要です。受講を決める前に，必ず当該授業科目担当教員とよく相談してください。

※授業曜日・時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承願います。なお、諸連絡は授業担当教員の指示及び掲示により行います。授業開始前には、毎回当該学部の掲示板をご覧ください。

学部等名：大学院理工学教育部（理学領域）

番号	授業科目名	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	教室	募集定員	難易度	試　聴　日	備考
1	代数学特論Ｂ	木　村　　巌	月・２	理Ｂ133	若干名	Ｄ	10/15	パソコン使用 （Moodle 使用）
2	幾何学特論Ａ	川　部　達　哉	火・２	理Ｂ133	若干名	Ｄ	10/9	
3	解析学特論Ａ	出　口　英　生	金・２	理Ｂ133	若干名	Ｄ	10/19	
4	解析学特論Ｃ	藤　田　安　啓	水・２	理Ｂ133	若干名	Ｄ	10/3	
5	凝縮系物理学Ⅱ	田　山　　孝	火・５	理Ｃ206	若干名	Ｄ	10/9	
6	ナノ粒子物理学	池　本　弘　之	金・２	理Ｃ105	若干名	Ｄ	10/5	
7	量子エレクトロニクスⅠ	榎　本　勝　成	金・１	理Ｃ105	若干名	Ｄ	10/5	
8	固体物理化学	田　口　　明	金・１	理Ｃ206	５名程度	Ｄ	毎回可能	
9	機能性材料学	萩　原　英　久	水・２	理Ａ425	若干名	Ｄ	10/3	
10	環境無機反応論	丸　茂　克　美	金・２	理Ｃ204	若干名	Ｄ	10/12	
11	植物生態学特論	和　田　直　也	火・２	理Ｃ204	若干名	Ｄ	10/9	
12	生物統計学	石　井　　博	金・３	理Ｃ204	若干名	Ｄ	10/5	
13	微生物生態学特論	田　中　大　祐	月・２	理Ｃ204	若干名	Ｄ	10/15	

（注１）　当該授業科目受講のためには，開講時以前の全必修科目を修得しているのと同程度の学力を有することが必要です。受講を決める前に，必ず当該授業科目担当教員とよく相談してください。

※備考欄に「パソコン使用」とある場合は、授業でパソコンを使用します。別途利用手続きが必要となりますので、受講生窓口（社会貢献課）までお問い合わせください。

※授業曜日・時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承願います。なお、諸連絡は授業担当教員の指示及び掲示により行います。授業開始前には、毎回当該学部の掲示板をご覧ください。

大学院名：大学院理工学教育部（工学領域）

番号	授業科目名	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	教室	募集定員	難易度	試　聴　日	備考
1	生体システム特論第２	金　　主　賢	火・1	工24	若干名	D		
2	電力工学特論第１	伊　藤　弘　昭	水・1	工24	若干名	D		
3	通信システム特論第３	本　田　和　博	水・2	工24	若干名	D		
4	通信システム特論第２	荏　戸　立　夫	木・1	工23	若干名	D		
5	神経情報工学特論第１	田　端　俊　英	月・2	工 イノベ2	若干名	D		
6	パターン情報処理特論	酒　井　　充	月・3	工 イノベ2	若干名	D		
7	システム工学特論第２	参　沢　匡　将	火・2	工 イノベ2	若干名	D		
8	メディア情報通信特論第２	稲　積　泰　宏	火・3	工12	若干名	D		
9	シミュレーション工学特論第１	佐　藤　雅　弘	火・4	工12	若干名	D		
10	メディア情報通信特論第１	堀　田　裕　弘	水・2	工12	若干名	D		
11	通信方式特論第２	角　畠　　浩	木・2	工 イノベ2	若干名	D		
12	シミュレーション工学特論第２	春　木　孝　之	金・3	工 イノベ2	若干名	D		
13	計算力学特論	松　島　紀　佐	月・3	工21	若干名	D		
14	制御機器特論	神　代　　充	火・2	工33	若干名	D		
15	要素設計工学特論	小　熊　規　泰	火・3	工21	若干名	D		
16	ナノ機械システム特論	タチアナ ニコラエヴナ ゾロツキヒナ	水・1	工 イノベ3	若干名	D		
17	塑性加工学特論	髙　辻　則　夫	水・2	工33	若干名	D		
18	伝熱工学特論	平　澤　良　男	木・1	工 イノベ3	若干名	D		
19	流体工学特論	渡　邊　大　輔	木・4	工 イノベ3	若干名	D		
20	塑性力学特論	増　田　健　一	木・5	工 イノベ3	若干名	D		
21	ロボティクス特論	関　本　昌　紘	金・1	工 端末室 （104）	若干名	D		パソコン使用 （端末室の授業）
22	計測システム特論	笹　木　　亮	金・3	工 イノベ3	若干名	D		
23	自律システム工学特論	保　田　俊　行	金・4	工 イノベ3	若干名	D		
24	放射線生物工学特論	黒　澤　信　幸	月・5	大学院棟 第2演習室	若干名	D		
25	神経システム特論	川　原　茂　敬	火・5	工 イノベ4	若干名	D		
26	環境分析化学特論	加賀谷　重　浩	月・1	工 イノベ4	若干名	D		
27	有機工業化学特論	米　山　嘉　治	月・2	工 イノベ4	若干名	D		
28	分子固体物性特論	宮　﨑　　章	水・1	工 イノベ5	若干名	D		
29	創薬工学特論	阿　部　　仁	木・1	工 イノベ5	若干名	D		

大学院名：大学院理工学教育部（工学領域）

番号	授業科目名	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	教室	募集定員	難易度	試　聴　日	備考
30	計算分子科学特論	石　山　達　也	木・2	工 イノベ5	若干名	D		
31	界面分析化学特論	源　明　　誠	金・1	工 イノベ5	若干名	D		
32	素形制御工学特論	才　川　清　二	月・2	工 イノベ5	若干名	D		
33	反応制御工学特論	村　田　　聡	月・5	工 イノベ5	若干名	D		
34	計算材料工学特論	布　村　紀　男	火・1	工 イノベ5	若干名	D		
35	環境制御工学特論	砂　田　　聡 畠　山　賢　彦	火・2	工 イノベ5	若干名	D		
36	機能制御工学特論	佐　伯　　淳	木・1	工 イノベ4	若干名	D		
37	鉄鋼材料工学特論	小　野　英　樹	木・2	工 イノベ3	若干名	D		

（注 1）　当該授業科目受講のためには，開講時以前の全必修科目を修得しているのと同程度の学力を有することが必要です。受講を決める前に，必ず当該授業科目担当教員とよく相談してください。

※備考欄に「パソコン使用」とある場合は、授業でパソコンを使用します。別途利用手続きが必要となりますので、受講生窓口（社会貢献課）までお問い合わせください。

※授業曜日・時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承願います。なお、諸連絡は授業担当教員の指示及び掲示により行います。授業開始前には、毎回当該学部の掲示板をご覧ください。

高岡キャンパス



芸術文化学部

- A A 棟
- B1 B1 棟
- B2 B2 棟
- C C 棟 生協コンビニ
- D D 棟
- E E 棟
- F F 棟 [芸術文化図書館]
- G G 棟 [アリーナ]
- H H 棟 レストラン・売店（講堂）

<高岡キャンパス受講生窓口>

富山大学　芸術文化学部総務課　総務・研究協力チーム
〒933-8588　富山県高岡市二上町180
TEL 0766-25-9138　FAX　0766-25-9104
月曜日から金曜日の8：30から17:15まで受け付けています。（祝日を除く）

Ⅰ　実　施　形　態

（公開授業科目）

1　公開する授業科目は、「オープン・クラス授業科目一覧」（P34 参照）に記載のとおりです。

オープン・クラス授業科目一覧中の難易度は、授業の内容に応じて、次の四段階に区分していますので、参考にしてください。

難易度の目安

A　入門的な内容であり、高等学校卒業程度の学力を必要とするもの（大学１年次生対象の授業）

B　より進んだ内容であり、当該専門分野についての一定の基礎知識が必要となるもの（大学２～３年次生対象の授業）

C　高度な内容であり、当該専門分野について系統立てた学習がなされていることを前提とするもの（大学３～４年次生対象の授業）

D　高度の専門性を要する内容であり、大学卒業程度の学力を必要とするもの（大学院生対象（ハイ・グレード・オープン・クラス（HGOC））※の授業）

授業内容の紹介（シラバス）は、本学ホームページの「Ｗｅｂシラバス（授業案内）」（http://syllabus.adm.u-toyama.ac.jp/syllabus/）に掲載されておりますのでご覧ください（トップページから「キャンパスライフ」あるいは「在学生・教職員」のメニューをクリックしてください）。高岡キャンパス受講生窓口においてもシラバスの閲覧ができます。

また、授業はあくまでも本学の学生を対象にしたものであり、受講生のために特別開設されたものではないことを予めご了承ください。

※ハイ・グレード・オープン・クラス（ＨＧＯＣ）について

内容的にも、より高度で専門的な本学の授業科目を受講してみたいという方のニーズに応えるため、大学院（修士又は博士前期課程）の授業科目を、ハイ・グレード・オープン・クラス（ＨＧＯＣ）として引き続き公開します。あらためて大学で、より高度で専門的な内容を学びたい（あるいは「学び直し」したい）とお考えの方は、是非受講してみてください。

受講手続や受講料は、学部の教養教育や専門科目との違いはありません。

（募集定員）

2　募集定員は、「オープン・クラス授業科目一覧」に記載のとおりです。

「オープン・クラス授業科目一覧」に記載の募集定員を超えた場合や学生の履修者数が多かった場合には受講できないことがあります。

また、学生の履修者がいなかった場合は、オープン･クラスとしても開講されませんので、予めご了承ください。

（開講期間）

3　**平成 30 年 10 月３日（水）～平成 31 年２月１日（金）**

（一部、開講期間が異なる科目があります。その授業科目については、「オープン・クラス授業科目一覧」の備考欄を参照ください。）

授業日程については、予め決まっている休講日及び曜日を変更して実施する授業等があります。詳細は、必ず、表紙裏の「平成 30 年度後学期授業日程」でご確認ください。

（試聴授業）

4　試聴期間中の初回の授業は試聴授業として扱います。

（修了証書）

5　オープン・クラスの受講生には単位認定を行いませんので、予めご了承願ください。また、学期末の試験等は課しません。

全授業回数の 2/3 以上受講された方には、修了証書を発行いたします。修了証書を希望される場合には、受講生窓口にお申し出ください。

（県民カレッジの単位認定）

6　オープン・クラスは、県民カレッジ（富山県民生涯学習カレッジ）との連携講座です。全授業回数の 2/3 以上受講された方には、希望により、時間数に応じて（１時間を１単位とし、５単位刻みで認定）県民カレッジの単位が認定されます。単位認定を希望される場合には、受講生窓口にお申し出ください。

Ⅱ　受　講　手　続

（受講希望調書受付期間）

1　**平成 30 年９月３日（月）～９月 14 日（金）**

受付期間終了後の受付はできません。受付期間をご確認の上、遅れることのないよう提出してください。

（受講希望調書の提出）

2　本要項の巻末に添付してある「受講希望調書」を下記高岡キャンパス受講生窓口に直接提出していただくか、郵送あるいは FAX でお送りください。郵送・FAX の場合は、受付期間最終日必着とします。

富山大学　芸術文化学部総務課　総務・研究協力チーム
〒 933-8588　富山県高岡市二上町 180
TEL　0766-25-9138　FAX　0766-25-9104
月曜日から金曜日の 8:30 から 17:15 まで受付けています。（祝日を除く）

3　「受講希望調書」を提出された方には、「受講届」用紙及び「試聴証」をお渡しします。
この試聴証は試聴時にお付けいただきますので、紛失されないようにご注意ください。

（受講の試聴日）

4　受講生が授業の概要を確認し、受講する科目を決定していただくため、「試聴日」を設けます。試聴日は「オープン・クラス授業科目一覧」に記載してあります。試聴日終了までに受講科目を確定していただき、受講科目の登録を行ってください。試聴日以降に受講科目を追加・変更することはできません。

また、授業担当教員の都合により休講となる場合もありますので、掲示にご注意ください。

（受講科目の登録）

5　受講する科目を決められた方は、「受講届」に授業科目名等を記入し、**試聴日に授業担当教員に提示し、確認のサイン等を受け、高岡キャンパス受講生窓口にご提出ください。**

高岡キャンパス受講生窓口では、「受講届」を確認のうえ、受講登録を行います。

受講登録の際に必要となる書類等は次のとおりです。

・受講届

・受講料
・運転免許証、保険証等の身分を証明できる書類等

なお、登録手続は試聴期間中に完了していただくようお願いいたします。

授業に関する疑問・質問等がある場合は、確認のサイン等を受ける前に担当教員に照会してください。

（受講料の納付等）

6　受講登録時に、高岡キャンパス受講生窓口で受講料を納付してください。受講料は本学が定める公開授業受講料により徴収させていただきます。

１授業科目　　9,300 円 （税込）（大学院（ＨＧＯＣ）も受講料は同額です。）

（**一部、受講料が異なる科目があります。**その授業科目については、「オープン・クラス授業科目一覧」の備考欄をご参照ください。）

なお、いったん納入された受講料は、理由のいかんを問わず返還できませんので、予めご了承ください。

受講生が授業で使用するテキスト代及び授業に係るその他の費用（材料費等）は、受講生の負担となりますのでシラバス及び担当教員の指示に従って、ご自身でご用意ください。テキストは富山大学生協で取り扱っています。

（受講証の交付）

7　受講料を納付された方には受講証をお渡ししますので、キャンパス内では必ず着用ください。

Ⅲ　受講に際して

（受講生の義務）

1　受講生は、受講に当たり本学が行う教育及び研究に支障をきたさないよう努めていただくとともに、授業担当教員の指示に従ってください。また、本学構内で勧誘行為等を行うことを禁止いたします。

（受講の停止）

2　受講生が義務に違反し、本学の秩序を乱し、または受講生としてふさわしくない言動があった場合、受講を停止することがあります。

なお、受講停止の場合であっても、既納の受講料は返還できません。

（休・補講、教室変更について）

3　これらの連絡は学務チーム掲示板（Ａ棟１階　学務チーム入り口前）で行います。受講開始後でも、教室等について変更する可能性がありますのでご注意ください。

また、**携帯電話やパソコンからも授業の掲示情報を確認できます。詳細は、本要項の最終ページ（裏表紙の裏）をご参照ください。**

（受講生の呼び出し等）

4　授業中その他、受講生への連絡や呼び出しには応じかねますので、予めご了承ください。また、授業中は、携帯電話の電源をお切りください。

（図書館の利用）

5　附属図書館は市民一般に開放しています。資料の貸出を希望される場合には、附属図書館のカウンターにて利用手続きを行ってください。

（福利厚生施設の利用）
6　受講生は、売店、食堂等の施設を利用することができます。

（損害賠償）
7　受講生が本学の施設、設備等を破損したときは、届け出てください。その損害を賠償していただくことがあります。

（保険制度）
8　授業内容により、一部保険加入が必須となる科目がありますのでご注意ください。加入手続きは、高岡キャンパス受講生窓口で行ってください。

（通学方法）
9　キャンパスには駐車場がありますが、事故が起きた場合、大学側では責任を負いかねますので、予めご了承ください。

Ⅳ　その他

1　「オープン・クラス」に関する授業内容等については、下記においてもお問い合わせできます。
○　芸術文化学部総務課　総務・研究協力チーム　　TEL 0766-25-9138

2　授業科目の授業曜日・時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので予めご了承ください。授業開始前には、毎回学務チーム掲示板をご覧ください。

3　受講に際しご記入いただいた個人情報（お名前や連絡先等）は、今後の講座案内等の送付やアンケート調査、講師への情報提供及び県民カレッジの単位申請にのみ利用し、その他の目的では利用いたしません。

オープン・クラス授業科目一覧

○専門科目

学部等名：芸術文化学部

番号	授業科目名	担当教員 氏名	授業日・時	教室	募集定員	難易度	試聴日	備考
1	構造力学１	大氏正嗣	月・1	B117	3	B	10/15.22	
2	デザイン史	大熊敏之	火・1	B116	若干名	A	10/9.16	
3	漆工素地制作Ｂ	小川太郎	火・2, 3	D130	若干名	C	10/9	漆塗装Ｂを受講したか、同等の技術、知識を有することが望ましい。専門性とある程度の技術力が必要とされます。漆かぶれの危険性も高いカリキュラムですので、ご勘案の上応募ください。学生受講者数等を勘案して受入を判断する。 作業服・材料費が別途必要です。 13,300円
4	塗料化学	村田聡	火・2	B210	若干名	A	10/9.16	
5	西洋美術史講読	松田愛	火・2	C437	若干名	B	10/9.16	西洋美術史の流れを理解していることが望ましい
6	東洋美術史料購読	三宮千佳	火・3	H281	若干名	A	10/9.16	
7	風景鑑賞史	奥敬一	火・4	C437	若干名	B	10/9.16	講義の中で実施する机上演習では簡単な三角関数の知識を要する。表計算ソフトあるいは関数電卓で三角関数を扱えることを前提とする。
8	鋳金Ａ（生型鋳造）	三船温尚	火・4, 5	D135	1	C	11/29	11/29（木）より開始 地域関連科目
9	異文化理解研究（中国語）	山田眞一	火・4	B210	若干名	C	10/9.16	ピンインがついていない中国語が読めること
10	造形材料（有機材料２）	村田聡	水・1	B210	若干名	A	10/3.10	
11	色彩基礎演習	武山良三	水・1	B212	2	A	10/3.10	アドビ社のイラストレータ、フォトショップの基本操作が行えることが望ましい
12	近・現代建築意匠	松政貞治	水・2	C221	3	B	10/3.10	
13	立体実習（木彫）１	後藤敏伸	水・2 金・4	B115	2～3	B	10/3.5	木彫叩きのみの扱いを経験している方。材料費が別途必要です。要：傷害保険加入。 13,300円
14	造形材料（金属材料１）	長柄毅一	水・2	H282	若干名	A	10/3.10	
15	健康スポーツ論	田邊元	木・2	B117	10	A	10/4.11	文化人類学を基礎とした健康スポーツ論であるため、いわゆる運動生理学や公衆衛生学を基礎とした健康スポーツ論ではないこと、ディスカッションが毎回あることを予め理解してから参加してください。
16	建築と文化	松政貞治	木・4	C221	3	A	10/4.11	地域関連科目
17	漆加飾Ｃ	小川太郎	木・4, 5	D131	若干名	C	10/4	漆塗装Ｂを受講したか、同等の技術、知識を有することが望ましい。専門性とある程度の技術力が必要とされます。漆かぶれの危険性も高いカリキュラムですので、ご勘案の上応募ください。学生受講者数等を勘案して受入を判断する。 作業服・材料費が別途必要です。 13,300円 地域関連科目
18	漆工技法・材料	高橋誠一	金・5	B210	5	A	10/5.12	

※授業曜日・時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承願います。なお、諸連絡は、授業担当教員の指示及び掲示により行います。授業開始前には、毎回当該学部の掲示板をご覧ください。

平成　　年　　月　　日

平成 30 年度後学期
富山大学　オープン・クラス（公開授業）
受講希望調書

住　　所	〒		
フリガナ 氏　　名		性　別	男・女
TEL （携帯 TEL）			
年　　齢			
生涯学習メールマガジンの配信を希望される方は、e-mail アドレスをご記入ください。なお、既に登録済みの方はご記入いただく必要はありません。 e-mail　：			

（切り取り線）

富山大学オープン・クラス（公開授業）として、下記授業科目の受講を希望します。

記

学部名等		
授業科目	番　号 （　　）	
担当教員		
授業曜日・時限	曜日　　限	
授業でのパソコン使用	（該当する方に○を付けてください） 有　・　無 （有の場合） 端末室の授業 ・ Moodle 使用	※科目一覧の備考欄に「パソコン使用」とある場合に、授業でパソコンを使用します。別途手続きが必要となります。

※　本調書は、1 授業科目ごとに 1 枚とし、**９月３日（月）から９月 14 日（金）まで** に各キャンパス受講生窓口に提出してください。郵送あるいは FAX も受け付けます。複数の授業科目の受講を希望される方は、本用紙を複写してご使用ください。なお、募集定員を超えた場合には、受講できない場合があります。

※　オープン・クラスの受講生には単位認定を行いませんので、予めご了承ください。

※　ご記入いただいた個人情報（お名前や連絡先等）は、今後の講座案内等の送付やアンケート調査、講師への情報提供及び県民カレッジの単位申請にのみ利用し、その他の目的では利用いたしません。

オープン・クラス受講生の方へ

携帯電話・パソコンで授業の掲示情報が確認できます。

授業の休講・補講の情報や緊急情報を、携帯電話やパソコンから確認することができます。

掲示情報（携帯・パソコン共通）のＵＲＬは、下記のとおりです。

http://syllabus.adm.u-toyama.ac.jp/keitai_info/

ＱＲコードに対応する携帯電話をお持ちの方は、
左のＱＲコードからアクセスできます。

＜留意事項＞

＊本サイトの情報はあくまでも補足的なものです。必ず、学内掲示板をご確認ください。なお、学内掲示板と掲載内容が異なる場合は、学内掲示板の内容が優先します。

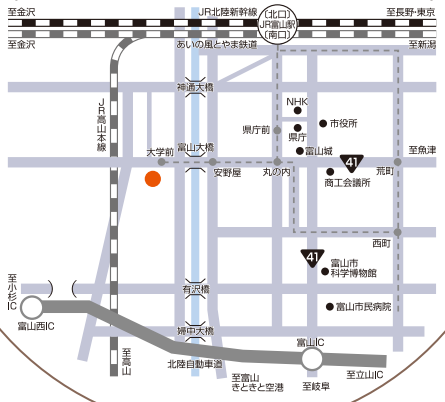
＊掲示の内容は 10 分毎に最新の掲示情報に更新されます。

＊台風や地震などによる全学一斉の休講通知のような、速報性の高い情報は緊急情報から確認できます。

五福キャンパス

〒930-8555 富山市五福3190

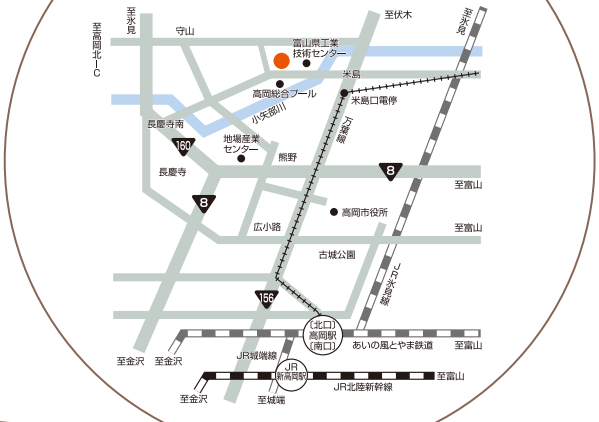
（人文学部、人間発達科学部、経済学部、理学部、工学部、都市デザイン学部
人文科学研究科、人間発達科学研究科、経済学研究科
理工学教育部、教職実践開発研究科



高岡キャンパス

〒933-8588 高岡市二上町180

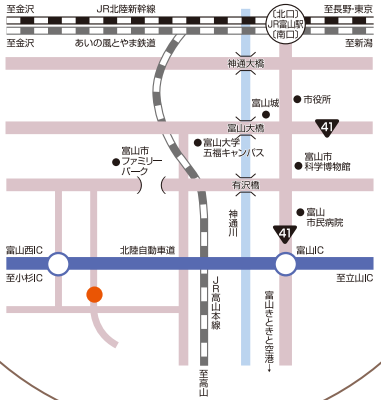
（芸術文化学部、芸術文化学研究科）



杉谷キャンパス

〒930-0194 富山市杉谷2630

（医学部、薬学部、生命融合科学教育部、医学薬学教育部）



富山大学 地域連携推進機構 生涯学習部門

〒930-8555　富山市五福3190
TEL076-445-6956　FAX076-445-6033
ホームページアドレス　http://www.life.u-toyama.ac.jp/
Eメール　lifelong@ctg.u-toyama.ac.jp

リサイクル適性Ⓐ
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。